

生涯学習部会

生涯学習部会は桐原学区まち協傘下8部会の一つとして、桐原学区文化振興協会とサークル会により構成されます。また、年間を通して学区住民を対象とした生涯学習事業を展開しています。

基本方針

「いつでも だれもが楽習（学習）し、心豊かなひとづくり」

子どもから高齢者までの全ての住民に楽しい生涯学習の機会を提供し、教養を高め心豊かな地域社会を構築する。

文化振興協会

●学区民文化祭

毎年11月に桐原小学校にて開催しています。近年は毎年ごとにテーマを決め、それに沿った様々な企画を行いました。年々来場者が増え、延べ3000名ほどの人が訪れています。

文化祭テーマ

H26 『家族が集える文化祭』

H27 『ありがとう桐原』

H28 『深めよう絆 繋げよう未来の桐原』

H29 『チャレンジ桐原 広げよう交流の輪』

H30 『世代を繋ぐ友好の輪 桐原』



平成26年から毎年子どもの遊具としてふわふわドームをレンタルしています。



イベントの目玉として、様々なゲスト出演者にお越しいただきました。



学区住民の作品展示



学校・幼稚園・保育所の作品展示



平成27年から毎年ご出演いただいている、桐原小学校の有志の皆さん



フリーマーケット（平成27年）

サークル会

桐原コミュニティセンター利用団体の皆さんにより組織されます。3月開催の『ふれあい会』の企画運営を主に行います。

●桐原コミュニティセンター利用団体

桐原コミュニティセンターの登録団体の皆さんです。(平成30年度現在)

●琴森会	大正琴	●ヨガ教室	ヨガ
●琴成会	//	●正賀流剣舞会	サムライ剣舞
●琴桐会	//	●桐原太極拳クラブ	太極拳
●淡海ちぐさ会	//	●のびのび体操	ゴムバンド体操
●ロッソステラ	クラシックギター	●フリーピンポン	フリーピンポン
●ラ・フルール	女声コーラス	●八幡句会	俳句
●ザ・ミッション	音楽	●翔吟会	詩吟
●桐の葉会	新舞踊	●謡曲の会	謡曲
●3B 体操 (A・B・C)	3B体操	●ハングルドラマ	韓国語教室
●3B体操 (J)	//	●手品サークル	手品
●ゴムバンド桐原	ゴムバンド体操	●パッチワークキルト	パッチワークキルト
●レイミリミリ桐原教室	フラ	●フラワーサークルミモザ	フラワーアレンジメント
●レイプア (フラ)	//		

●ふれあい会

桐原コミュニティセンター利用サークルの皆さんを主体としたイベント『ふれあい会』は、平成25年度から開催されました。「見て・聞いて・やってみよう!」をテーマに、各サークルのステージ発表や展示発表のほか、体験ができる教室の開催などを通して、住民のみなさんにサークルの活動について知ってもらう機会として定着してきました。



新舞踊の発表



3B体操体験



フラダンス体験

生花体験



大正琴の発表



生涯学習事業

住民の皆さんを対象にした生涯学習講座を年に数回開催しています。毎年恒例となった事業や、講座をきっかけにサークルが発足した事業などが多数あります。継続的な生涯学習の機会づくりの一助として、これからも魅力的な事業の開催に努めます。

●手芸

手芸教室
えとづくり
小物づくり教室
きりこづくり
モール教室
扇子教室（高島）
絵手紙教室
グラスアート教室
ジェルキャンドル教室
サンドブラスト
反射糸リフレの
アクセサリーづくり
万華鏡づくり
ピンクッションづくり
バラのコサージュ作り
カントリードール
あじさいコサージュづくり
ハーバリウム教室
パッチワーク教室
木工体験
ガラス教室
トールペイント教室
陶芸教室
よしあかりづくり



パッチワーク教室



えとづくり



カントリードール教室



陶芸教室

●アロマ

アロマ教室
アロマで健康づくり
アロマテラピーサシェ作り
アロマハンドクリーム作り
メディカルハーブレッスン
せっけんづくり
バスボムづくり
アロマでお掃除



アロマ教室

●園芸

寄せ植え教室
こけだま教室
子ども生花



寄せ植え教室

●健康づくり

太極拳
ヨガ教室
フリーピンポン
整体講座

●料理

そば打ち体験
味噌教室
キムチ教室
タイ料理教室



キムチ教室

●その他

ギター教室
詩吟教室
易学教室
子ども論語塾
英会話教室
謡曲教室
マジック教室
かんたん着付け教室
俳句はじめての一步
手話教室
囲碁教室
韓国語教室
日韓交流会
お片付け教室



ギター教室



お片付け教室

生涯体育部会

基本方針

「いつでも だれもがスポーツを楽しみ、健康なひとづくり」

子どもから高齢者までの全ての住民に楽しい生涯スポーツの機会を提供し、心身共に健康な地域社会を構築する。

体育振興協会

健康で豊かな生活を送るため、スポーツ活動に親しむ場を提供し学区民にスポーツの振興と普及を図り、学区の子どもから高齢者まですべての市民が生涯にわたって自己の健康に応じた体力の増強を図るとともに、スポーツを通して地域の連帯と親睦を深め、信頼感や連帯感に満ちた豊かで住みよい地域社会づくりに貢献することを目的とし活動しています。

●事業計画は年度始め総会で決定

年度始め総会では、体育振興協会の理事と各自治会選出の体育委員が出席し、グラウンドゴルフ、健康体験教室、運動会、ふれあいジョギング、探訪ウォーク等の年間事業内容を決定していきます。



●市民運動会

今年62回目を迎える市民運動会は31の自治会が結集し、親睦を深める一大イベントです。参加者は近年子どもからお年寄りまで 3,500 名以上となり、リレーや綱引きでは予選を勝ち抜きようやく決勝にたどり着ける種目もあり、その他大縄跳びや新種目のリングインワンは大いに盛り上がります。桐原では、当日の市民運動会を迎えるにあたり、体育委員会、競技役員会、抽選会で十分練りに練って運動会を盛り上げるために頑張っています。



●体育事業内容の経過

皆様の意見をいただいて新しいスポーツに挑み、また、逆に中止せざるを得なかったスポーツもあります。具体的には次表の通りです。

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
ゲートボール	10/26	10/25	10/24	5/22	5/13	5/12	5/11中止			
グラウンドゴルフ大会(春季)	5/25	5/24						6/7	5/29	6/4
健康体験教室							6/1	5/14	6/5	6/18
スポレック大会	6/29	6/28	6/27	6/26	6/3	7/28				
バレーボール大会	6/1	7/12	7/18	6/12	6/3	6/23				
ビーチボール大会	7/20	6/7	5/30	5/29	5/27	6/2		7/5	7/10	7/9
ボウリング大会								7/26	7/24	7/23
ソフトボール大会	9/14	9/13	9/5	9/11	9/15	9/15	9/14	9/13	9/18雨中止	9/17雨中止
運動会	10/5	10/4	10/3	10/2	10/7	10/13	10/12	10/11	10/2	10/1
グラウンドゴルフ大会(秋季)			10/23	10/23		10/20	10/19	9/27	10/16	
探訪ウォーク		12/20	12/19	12/18	10/21	10/27	10/26	11/29	11/20	11/20
ふれあいジョギング	10/26-3/1	10/25-12/20	10/14-12/19	10/14-12/19	10/21-12/23	10/26-12/15	10/19-12/24	10/18-12/13	10/23-12/18	10/22-12/17
ニュースポーツ体験教室										12/10
マラソン大会	12/7	12/6	12/5	12/4	12/2	12/1	12/7	12/6	12/11	
ファミリーグラウンドゴルフ										10/15雨中止
ゴルフコンペ								6/15	12/4	1/21

●ふれあいジョギング

冬の日の早朝に家族の皆さんでジョギングまたはウォーキングで桐原コミュニティセンターまで来てもらうふれあいジョギングを数十年間実施しています。各年の参加者は表のとおりです。



	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
参加者	42		17		41	17	40	70	61	62
合格者	30		17		37	15	31	51	57	54

●探訪ウォーク

自治会会員の皆さんを対象として、運動不足解消のため歴史探訪を兼ねてウォーキングを実施しています。最近では県外に足を伸ばし大変人気のあるイベントです。近年の行先は次表のとおりです。

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
行き先	野洲	大津市坂本	五個荘	姫路城	飛鳥路	郡上八幡
参加者	46	19	30	65	88	47



姫路城



飛鳥路



郡上八幡

●グラウンドゴルフ大会

近年非常に人気の高いグラウンドゴルフは自治会対抗の部と個人戦の年2回実施しています。参加人数は100名を上回り、各自治会間の親睦を図りながらも白熱した大会になっています。



●健康体験教室



日頃の運動不足の解消を目的に5回を迎えましたが、インストラクターの指導のもと、エアロビクス、ヨガ、ノルディックウォークに加え体力測定も組み込んで健康体験教室を実施しています。以前はスポーツフェスティバルと称し、太極拳、スポーツ吹き矢、スポレック他ニュースポーツも加え各種目とも50名ほどの参加者が汗を流しています。

●その他事業



ビーチボール大会



マラソン大会



ソフトボール大会



ボウリング大会

学区スポーツ少年団

桐原学区では7団体がスポーツ少年団として日々活躍されています。

- 八幡西清流館道場（剣道）
- 桐原ジュニアフットボールクラブ
- 桐原東サッカークラブ
- 桐原東ジュニアバレーボールクラブ

- 桐原東ジュニアバドミントンクラブ
- ホワイトコンドル（野球）
- グリーンズ（野球）

健康福祉部会

健康福祉部会は桐原学区まち協傘下8部会の一つとして、社会福祉協議会・民生委員児童員協議会・健康推進協議会・赤十字奉仕団・ボランティアあさぎり会・老人クラブ連合会・学校応援団の7団体で構成しています。

基本方針

「人と人が支えあい、思いやりと愛があふれる健やかな社会づくり」

近隣住民がおもいやりと優しさでお互いに支えあい、健康で愛情の溢れた幸せな地域社会を構築する。

社会福祉協議会

社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織で、昭和26年（1951年）に制定された社会福祉事業法（現在の社会福祉法）に基づき設置されています。

桐原学区社会福祉協議会は、まちづくり協議会のほか、自治連合会・各種団体・民生委員児童委員などの参加協力のもと、地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活することのできる福祉のまちづくりの実現をめざした様々な活動を行っています。

たとえば、高齢者の在宅生活を支援するための配食サービス（ふれあい弁当）をはじめ、地域のボランティアと協力し、高齢者や障がい者、子育て中の親子などが気軽に集えるサロン活動（金よう茶屋）を進めているほか、市社会福祉協議会と連携しての共同募金活動・学区平和祈念式典・子ども食堂などの事業を通じて、地域の福祉増進に取り組んでいます。

また、災害時には近江八幡市社会福祉協議会と連携してボランティアセンターを立ち上げるなどして被災地支援にも取り組んでいます。

・平和祈念式典

平成29年度で第6回となり、手づくりでの式典内容は学区の特色です。次世代の担い手である小・中学生の作文朗読、幼稚園の作品、保育所の千羽鶴、また県平和祈念館の資料展示と、29年度は講師の先生による集団学童疎開についての講演など取り組みました。



・福祉のつどい

平成29年度で第26回となり、学区の三大行事の一つです。

幅広い年齢層の参加と高齢者（70歳以上）の方、障がいのある方を招待などが事業の柱です。実施時期も平成28年度より極寒期（2月）より12月実施に変更されました。



・ふれあい弁当

この事業は学区の誇れる取り組みです。予算面もまち協の予算化や歳末助け合い募金よりの補填などで賄っています。高齢化も考えれば今一度原点に戻って十分な対応が求められています。



民生委員児童委員協議会

民生委員児童委員・主任児童委員は、社会奉仕の精神をもって地域の福祉向上に取り組むボランティアです。その職務の重要性に基づき、厚生労働大臣からの嘱託を受けて、桐原学区では現在、民生委員児童委員31名・主任児童委員4名で活動しています。任期は3年（再任は可）です。

民生委員児童委員は、住民の立場に立った相談・支援者であり、担当区域において高齢者や障がい者の安否確認や見守り、子どもたちへの声掛けなどを行っています。医療や介護の悩み、失業や経済的困窮による生活上の心配事などの相談に応じ、必要な支援が受けられるよう、行政をはじめ専門機関との「つなぎ役」になっています。

また、地域に密着した活動を基盤としていることから、児童虐待・認知症高齢者の増加・悪質商法被害・災害時における高齢者・要支援者に対する支援などの社会的課題に対して、行政・学区社会福祉協議会等と連携を図りながらその解決に向けた取り組みを行います。



健康推進協議会

会員数33名、年会費1名につき500円として活動しています。

「私達の健康は、私達の手で」を合言葉に地域の人々とのふれあいを大切にして、様々な健康活動を計画しています。



- 健康活動計画
ふれあい弁当への協力、福祉のつどい弁当づくり協力、減塩料理教室、小学生を対象「健康おやつづくり教室」、男性の料理教室、集団検診手伝い
- 地域での活動
子ども食堂協力、金よう茶屋協力、老人軽スポーツ、ゴムバンド体操教室（毎週火曜日）
- 県・市の関連活動（県・市）総会、各種研修会参加

赤十字奉仕団

団員数約60名、年会費500円

- 活動内容（全体）災害時救助活動訓練、募金活動、献血への呼びかけ、一声ふれあい運動、ディサービスセンターの慰問、老人や子ども対策への福祉学級開催、愛の雑巾づくり、ふれあい募金（年末）



- 地域での活動
福祉のつどい弁当づくり協力、ふれあい弁当への協力、子ども食堂協力、金よう茶屋協力、運動会（救護活動）、地域の美化活動
- 県・市の関連活動（県・市）総会、各種研修会取り組み協力

老人クラブ連合会

基本方針：老人クラブは「健康」「友愛」「奉仕」をモットーに活動しています。

「健康」…健康づくり、体力づくり、健康食事

（健康料理教室の開催、軽スポーツ教室の開催）

「友愛」…親睦、各種事業への参加、老人クラブ大会の参加

（市老連、学区内の親睦、県・市大会の参加、学区事業の参加）

「奉仕」…清掃奉仕、地域安全奉仕

（スクールガード、クリーン作戦、交通安全啓発活動）



ボランティアあさぎり会

・まち協関連事業

学区市民運動会（模擬店）、ふれあい弁当への協力

福祉のつどい弁当づくり協力、コミセン大掃除

平和祈念式典参加、住みまち講座参加



・その他関連事業

玉すだれ公演（各地で）、野洲養護学校（奉仕作業）

作業所まぶね手伝い、はちの子給食づくり

子ども食堂協力、金よう茶屋協力、共生センターまつり協力

学校応援団

子ども達の健やか成長を願い、保育所・幼稚園・小学校の行事や校内外の取り組みについて応援します。

・各事業への参加協力

＊保・幼・小のコーディネーターさんと連携し、ボランティア依頼をする

＊ボランティアの内容・人数・時期を事前にキャッチする

＊ボランティアの特性も把握する

＊ボランティアグループ（大きなグループ）との連携を日常的に協議する



金よう茶屋

一金よう茶屋とはー

健康福祉部会が、日帰り研修会を通じて考えていた「研修会は参加するだけの研修会になっている」の反省から生まれたカフェです。

ー素晴らしい出会いー

原点は平成25年11月22日の視察研修“山中・比叡平学区社協”への訪問でした。「楽市・楽座 金曜カフェ」を見学し、「私達も出来ることから何かやってみようではないか」と皆さんの意見がまとまりました。

まず何をするか、素早く出来ることから、喫茶とお菓子で平成26年2月14日にプレオープン!何とかなりそうと感じ、第1回目は2月28日(金)に始動しました。

当初は必要な備品も手作りで対応し、まち協だよりで不用品の募集など、多くの人々に支えられての出発でした。また、まち協から準備金を予算化していただきました。

ー要望をすぐ実行ー

慣れたところで来店者の要望でランチ(定食)を始めました。そして、障がい者支援で施設の出店もお願いしました。新しいコミセンへもスムーズに移転し、サークル団体さん、活動団体さんのご好意で予約も定着しています。

ーこれからの歩みー

スタートから4年5か月。出店回数90回、来客数延べ5621名(平成30年6月時点)(子ども含まず)この1年で新しいスタッフさんも5名増えました。

高齢者の居場所づくりは、スタッフも来客も参加して良かった元気になったと感じてもらえることが重要です。少し高齢化したスタッフの気持ちと身体のリフレッシュ(7月・8月・9月の暑い時期は休業)を実施し、運営では何でも話し合える雰囲気も必要です。桐原学区の皆さんに支えられ、学区内での役割を緩やかな気持ちで担うつもりです。

・・・皆さん!笑顔に出会える居場所へ お越しください・・・



きりっこ食堂

最近、全国的に展開されている子ども食堂を近隣先発地等に視察及び研修をおえ、まち協組織内健康福祉部会及び各学校関係者で平成28年8月に発足。名称を「きりっ子食堂」とし、桐原小学校と桐原東小学校の2か所で開催することを決め、各種団体ボランティアさん25～30名で運営し、各学校の春・夏・冬休み各6回、計12回程度開催。運営費は参加子ども達100円、その他諸費用 県社協、JA、平和堂他各団体様、地域協力者により運営しています。

内容は主にカレーが中心で、各学校平均人数100～150名位に提供致しております。平成28年12月22日第1回～平成30年4月4日両校で14回を迎え、色々大変なこともあります、子ども達の為、各関係者の方々の協力の下頑張っています。今後も大変だと思いますが、関係者一同時間の都合が有れば頑張ります。

- ・運営委員メンバーは20～22名
- ・スタッフは運営班、給食班、渉外班で30名程度

きりっ子食堂委員会



人権推進部会

人権推進部会は桐原学区まち協傘下8部会の一つとして、桐原学区人権尊重のまちづくり推進協議会、男女共同参画推進協議会の2団体で構成されています。

基本方針

「お互いの人権を認め合い、尊重し、差別を許さない社会づくり」

自分と相手とは違うことを認識し、認め合い、差別や偏見を許さない明るい地域社会を構築する。

人権尊重のまちづくり推進協議会

●人権尊重のまちづくり懇談会

平成17年度より、「地区別懇談会」を「人権尊重のまちづくり懇談会」と改称し、各自治会別に様々な人権問題に取り組み、年度ごとのテーマを決めて実施するなど、勉強を重ねています。進め方は次のようになっています。

- 一近江八幡市の人権・市民生活課主催の学区別説明会の実施
- 一各自治会別に、人権尊重のまちづくり推進員を中心に検討、懇談会の実施
- 一学区にて、1部：講師による講演、2部：グループ別に分かれて反省会の実施

説明会の様子(26年度)



- ・平成24年度反省会（25年1月19日）

『人と人とのつながりを求めて』～子どもの人権から考える～ 講師：田中 豊之
教師時代に出会った生徒と保護者とのエピソードから、相手に気持ちを伝えるときの言葉の大切さや思いやりの気持ちなど、周りの人とのコミュニケーションの上で忘れてはならないことを気づかされるような講演でした。

- ・平成28年度反省会（29年2月4日）

『であい・ふれあい・まなびあい～津軽三味線とともに～』

講師：ファミリー劇団『座・くれよん』

津軽三味線による名曲の演奏を交えながら、部落差別や結婚差別など自らの経験をもとにしたお話や、昔語り『鳳凰の涙』を熱演されました。『正しい知識を学んでいたから自信を持って差別と戦えた…』人権学習の大切さを心に訴えかける素晴らしい講演でした。



- ・平成29年度反省会（30年2月10日）

『今日一日を命いっぱい』 講師：林 ともこさん（こんともさん）

わずか6歳で亡くなられた娘さん（あーちゃん）と過ごした日々の中で感じられたことをお話してくださいました。あーちゃんは生まれつき心臓に障がいがあり、また成長過程で脳性まひを発症し全介護が必要となりました。林さんご夫妻にとって、あーちゃんが生きていることそのものが宝物で、出来ないことを嘆くのではなく、できることへの感謝の気持ちを持ちながら過ごしておられました。この世に生まれてこない方が良かった命など一つもない…一生懸命に輝いて生きたあーちゃんの思いが伝わる素晴らしい講演でした。

●住みよいまちづくり推進講座

毎年6月から7月にかけて、3テーマから4テーマについて、専門家や経験者を講師に迎えて講座を開いています。毎回の参加者は約100名と年々脚光を浴びています。

・平成26年6月14日

『部落問題について考える』

講師：薦本 博益 さん

ものごとを一方的にとらえず、多方面から見ることで心の境界線をなくして行こう、と語られました。だまし絵やクイズ等を交えた楽しい講座でした。



・平成26年6月28日

『認知症について』

講師：渡辺 哲弘 さん

認知症の方の物事の認識の仕方から、接し方を知ることが出来ました。焦りや不安をなるべく取り除くことが進行を緩めることに繋がるということを学びました。



・平成29年6月10日

『多様な性のあり方』

～ LGBT の人権～

講師：田中 延和さん

性の多様性に関して、分かり易くお話していただきました。地域の中で偏見や差別に苦しむ人がいないように、多様な生き方・考え方を受け入れる気持ちが大切だと学びました。



・平成30年6月9日

『虐待の淵を生き抜いて』

講師：島田 妙子さん

小中学生の頃体験した壮絶な虐待について赤裸々に語ってくださいました。また、自分の怒りの感情をコントロールする「アンガーマネジメント」について教えていただきました。



・平成30年6月16日

『手話と歌で笑顔になろう』

講師：YOKKOさん

困難に立ち向かい夢をあきらめない気持ちをこめた歌詞を手話で表現しながら素敵な歌声を届けてくださいました。



●人権トークとコンサート 平成29年11月5日

「住みよいまちづくり推進講座」の定期的開催は、参加者が各種団体の関係者が中心であり、多くの参加者を募ろうと、桐原学区民文化祭とコラボして、不特定多数の文化祭参加者を巻き込んでの人権学習会として開催しました。



・人権トーク（桑原 征平さん）

阪神大震災の時に感じた人の心の温かさと、今の社会に執拗に潜在する差別…人間の理不尽さについてご自身の経験談も交えながら、軽妙な語り口でお話してくださいました。

・人権コンサート（JERRY BEANS）

不登校だった経験があるからこそ伝えられる温かいメッセージが溢れる素敵な歌を届けてくれました。最後は会場が一体になり大変盛り上がりました!!

